

大相撲が

やっ つて きた

結びから二番前の取組で、琴奨菊（右）に土俵際へ追い込まれ苦しい表情を見せる豪栄道。全勝優勝で先場所を制した豪栄道が出るとあって、最も注目を集めた

大相撲秋巡業
匠瑤場所



1 土俵を囲み取組に見入る観客。奥には「満員御礼」の垂れ幕 2 会場前には人気力士の名が記された計39本の幟（のぼり）が並び気分を盛り上げる 3 まげを結う場面も間近で公開 4 来場者と握手を交わし笑顔で迎え入れる力士 5 華やかな化粧まわしを付けた幕内力士の土俵入り



迫力の取組 間近に

62年ぶりの巡業 迫力の取組に興奮

匠瑛市制施行10周年記念を冠した、平成28年大相撲秋巡業「匠瑛場所」が10月5日、八日市場ドームで行われました。

当地での巡業は、昭和29年2月の開催以来、実に62年ぶり。商工会などで行く実行委員会が勧進元（主催者）となって実現しました。

匠瑛場所には日馬富士、鶴竜の両横綱を含む約170人の力士が参加。場内には「満員御礼」の垂れ幕が掲げられ、訪れた観客は約2700人。若い女性の姿も目立ち相撲人気の高さがうかがえる中、土俵をぐるりと囲んだ座席を埋め尽くした観客は、迫力の取組に興奮しました。

沸き立つ会場

観客は一喜一憂

長い列を作り入場を待つ観客が8時の開場と同時に場内へ向かうと、客席入り口では大砂嵐ら人気力士がお出迎え。入場してきた人々と握手や記念撮影などでふれあいました。場内はすでに、朝の稽古にいそむ力士たちからの熱気がこもり、これからの取組に向けて観客の気分を高めます。